



はじめに

BlueXP remediation

NetApp
February 02, 2024

目次

はじめに	1
BlueXPの修正プログラムについて説明します	1
タグ付けの詳細をご覧ください	3

はじめに

BlueXPの修正プログラムについて説明します

BlueXP修正サービスを使用すると、作業環境でのリソース作成をBlueXPで標準化できます。たとえば、「ボリュームテンプレート」内の必須パラメータをハードコーディングして、あとでストレージ管理者がテンプレートを使用してボリュームを作成するときに適用できます。これには、必要なディスクタイプ、サイズ、プロトコル、Snapshotポリシー、クラウドプロバイダ、その他。作成されたすべてのボリュームに対して、BlueXPのバックアップとリカバリなどの特定のサービスを有効にすることもできます。

テンプレートを使用することで、ストレージ管理者は、データベース、Eメール、ストリーミングサービスなど、導入する各アプリケーションのワークロード要件に合わせて最適化されたボリュームを簡単に作成できます。また、各ボリュームがアプリケーションごとに最適に作成されていることを確認すれば、ストレージアーキテクツの負担が軽減されます。

の機能

BlueXPの修正プログラムには、次の機能とメリットがあります。

- インフラの設計と開発を自動化し、改善します
- BlueXPのバックアップとリカバリやBlueXPの分類など、さまざまなネットアップクラウドサービスをアクティブ化するための単一の場所を提供します
- 変更され、テンプレートに適合しなくなったリソースを特定します（「ドリフト」機能を使用）。

この時点で、リソースをテンプレートに合わせて戻すために、手動で調整を行う必要があります。["ドリフトの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

使用可能なテンプレートアクション

テンプレートは、事前に定義された値を持つ「アクション」のチェーンです。次のアクションを含むテンプレートを作成できます。

- リソースアクション：*
- Cloud Volumes ONTAP ボリュームの作成（AWS、Azure、GCP 上）
- Azure NetApp Files ボリュームを作成します
- オンプレミスの ONTAP ボリュームを作成
- Cloud Volumes ONTAP 作業環境の作成（AWS 上のシングルノードまたは HA システム）
- 特定の基準を満たす既存のリソースを検索する（既存のリソースに「サービス」アクションを適用できるようにする）
- サービスアクション：*
- アクティブ化します ["BlueXPのバックアップとリカバリ"](#) ボリューム（Azure NetApp Files には該当しません）

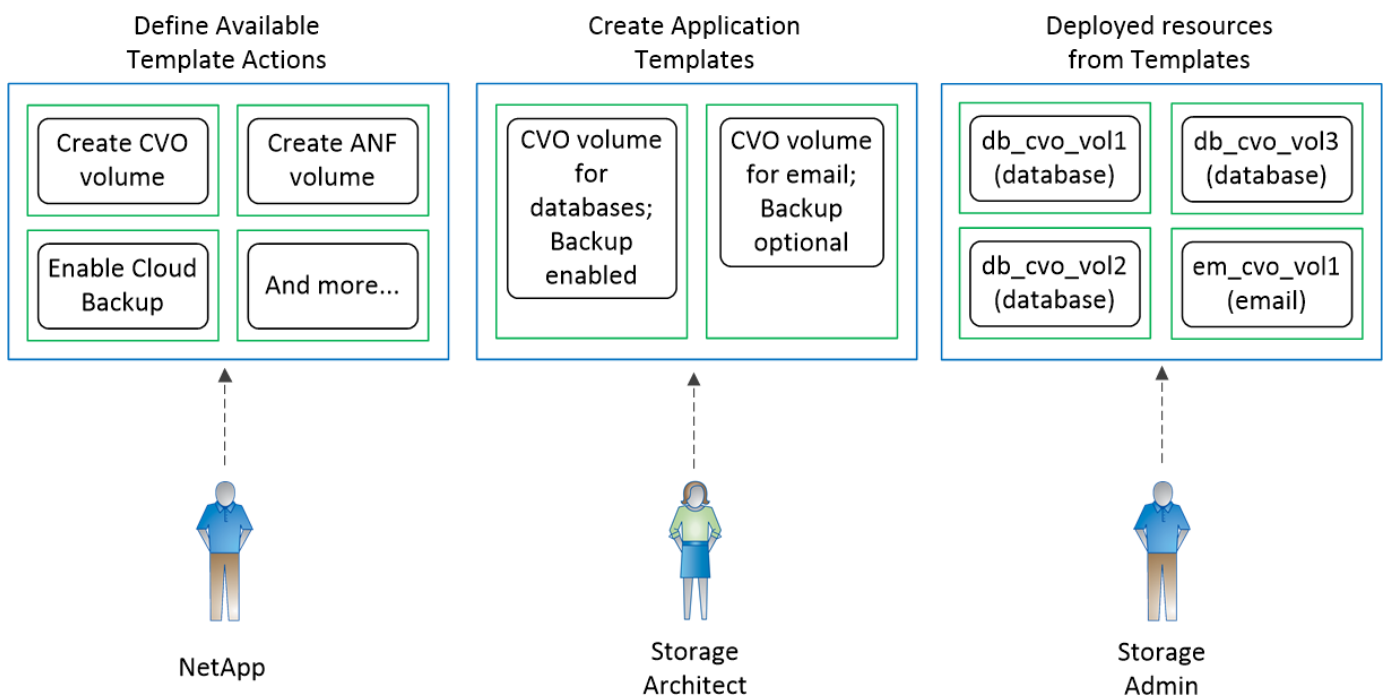
- アクティブ化します "BlueXPの分類" ボリューム
- アクティブ化します "BlueXPレプリケーション" ボリューム（ Azure NetApp Files には該当しません）

たとえば、Cloud Volumes ONTAP ボリュームを作成するテンプレートを作成できます。または、Cloud Volumes ONTAP ボリュームが作成され、そのボリュームでBlueXPのバックアップとリカバリが有効になります。これでCloud Volumes ONTAP ボリュームが作成され、そのボリュームでBlueXPのバックアップとrecovery_and_BlueXP分類が有効になります。

ネットアップは、時間の経過とともにアクションを追加します。

BlueXPの修復の仕組み

BlueXP修正サービスは3つのパートで構成されます。テンプレートを実行した結果、使用可能なテンプレート「アクション」、カスタマイズされたアプリケーションテンプレート、および展開されたリソース。次の図は、各コンポーネント間の関係を示しています。



高レベルでは、テンプレートは次のように機能します。

1. ネットアップでは、使用可能なテンプレート「アクション」を定義しています。

たとえば、「処理」を使用して Cloud Volumes ONTAP ボリュームや Azure NetApp Files ボリュームを作成できます。

2. ストレージアーキテクトは、アプリケーションテンプレートの作成に使用する「アクション」を選択し、リストされたパラメータに特定の値をハードコーディングします。

たとえば、Cloud Volumes ONTAP データベースのワークロードの伝送に使用される高速ディスクと大容量の RAM を選択します。また、ボリュームごとにバックアップを作成する必要があります。

3. ストレージ管理者は、テンプレートを使用して、使用するアプリケーションに合わせて最適化されたリソースを作成します。

たとえば、データベース用に作成したボリュームテンプレートを使用して、Oracle データベースに使用するボリュームを作成します。

4. このサービスは、ストレージアーキテクトが決定した「ドリフト」機能を使用して、テンプレートで定義されている特定のリソース設定を追跡します。

価格とライセンス

BlueXPの修正機能にライセンスは不要で、すべてのBlueXPユーザが無料で使用できます。



テンプレートを使用すると、作成したリソースにクラウドサービスを適用できます。たとえば、すべてのボリュームでBlueXPのバックアップとリカバリを有効にすることができます。この場合、バックアップサービスと、バックアップファイルで使用されるオブジェクトストレージスペースの使用コストが発生します。

制限

- BlueXP修正サービスは、Gov Cloudのどのリージョンまたはインターネットアクセスのないサイトではサポートされません。
- テンプレートを使用して既存のアグリゲートに Cloud Volumes ONTAP ボリュームを作成することはできません。新しいアグリゲートに新しいボリュームが作成されます。

タグ付けの詳細をご覧ください

BlueXPを使用すると、タグを `_existing_resources` に適用して、これらのリソースの編成と管理を容易にすることができます。タグは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、課金コード、クラウドプロバイダを識別するために使用できるメタデータです。その他。

タグは、* タグキー * と * タグ値 * で構成されます。たとえば、「Environment」というタグキーを作成し、「Production」および「Test」のタグ値を追加できます。リソースに適用したら、キーと値のペアに一致するリソースをすばやく検索して表示できます。

作業環境または Azure NetApp Files ボリュームを作成するときに、タグキーと値のペアを `_new_resources` に追加できます。でタグキーと値のペアを定義することもできます ["作成したBlueXPテンプレート"](#) ストレージ管理者や DevOps エンジニアの方に最適です。

タグ付けサービスを使用して新しいタグを追加したり、既存のタグを変更または削除したりできます。

の機能

Tagging サービスには、次の機能とメリットがあります。

- 環境で使用する用語に一致するタグキーとタグ値を作成します
- 環境内のリソースを整理して監視と管理を簡易化する
- リソースタイプごとにタグキーとタグ値を追加、削除、および編集します
- AWS や Azure から、環境内の ONTAP のリソースとリソースにタグを付けましょう。

価格とライセンス

リソースにタグを付ける機能にはライセンスは不要で、アカウント管理者またはワークスペース管理者の役割を持つすべてのBlueXPユーザーが無料で使用できます。

タグ付け可能なリソース

タグは次のリソースに適用できます。

プロバイダ	サービス	リソース
ONTAP	Cloud Volumes ONTAP	アグリゲート Storage VM ボリューム
	オンプレミス ONTAP	アグリゲート Storage VM ボリューム
	Azure NetApp Files の特長	ボリューム
ネットアップサービス	同期	関係
AWS	EC2 の場合です	インスタンスセキュリティグループ サブネットボリューム VPC
Azure	コンピューティング	Snapshot 仮想マシン
	ネットワーク	セキュリティグループ仮想ネットワーク
	リソース	リソースグループ
	ストレージ	ストレージアカウント
GCP	コンピューティング	インスタンス
	ストレージ	バケット

AWS EC2 タグの詳細については、を参照してください "[AWS ドキュメント：「Tagging your Amazon EC2 Resources」](#)"。

Azure タグの詳細については、を参照してください "[Azure ドキュメント：「Tagging your Azure resources」](#)"。

Google ラベルについては、を参照してください "[Google Cloud のドキュメント：「Tagging your Google Cloud resources」](#)"。

前提条件

AWS Connector の権限を確認します

BlueXPバージョン3.9.10以上を使用してコネクタを作成した場合は、すべて設定されます。以前のバージョンのBlueXPを使用してコネクタを作成した場合は、AWS EC2インスタンスにタグを付けるためにBlueXP IAMロールに必要な権限をいくつか追加する必要があります。

```
{
  "Action": [
    "ec2:CreateTags",
    "ec2:DeleteTags",
    "ec2:DescribeTags",
    "tag:getResources",
    "tag:getTagKeys",
    "tag:getTagValues",
    "tag:TagResources",
    "tag:UntagResources"
  ],
  "Resource": "*",
  "Effect": "Allow",
  "Sid": "tagServicePolicy"
}
```

Azure Connector の権限を確認します

BlueXPバージョン3.9.10以上を使用してコネクタを作成した場合は、すべて設定されます。以前のバージョンのBlueXPを使用してコネクタを作成した場合は、Azureリソースにタグを付けるために、BlueXP Operator IAMロールに必要な権限をいくつか追加する必要があります。

```

{
  "id": "<ID>",
  "properties": {
    "roleName": "Cloud Manager Operator-<ID>",
    "description": "Cloud Manager Operator",
    "assignableScopes": [
      "/subscriptions/<SUBSCRIPTION-ID>"
    ],
    "permissions": [
      {
        "actions": [
          "Microsoft.Resources/tags/read",
          "Microsoft.Resources/tags/write",
          "Microsoft.Resources/tags/delete",
          "Microsoft.ClassicCompute/virtualMachines/read"
        ],
        "notActions": [],
        "dataActions": [],
        "notDataActions": []
      }
    ]
  }
}

```

タグルールと制限

タグキーとタグ値を作成するときは、次のルールが適用されます。

- キーの最大長：128 文字
- キー値の最大長：256 文字
- タグとタグの有効な値文字：アルファベット、数字、スペース、および特殊文字（_、@、&、* など）
- タグの大文字と小文字は区別されます。
- リソースあたりの最大タグ数：30
- リソースごとに、各タグキーは一意である必要があります

タグの例

キーを押します	値
環境	本番テスト
部門 / 施設	ファイナンスセールスエンジニアリング
オーナー	管理ストレージ

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。